



慣れ親しんだ環境で専攻医研修を

山内 一崇 耳鼻咽喉科 医員

平成27年3月 弘前大学卒

耳鼻咽喉科専門研修プログラム 平成30年度開始



私は青森市出身であり、生涯青森県の医療にこの身を捧げると決めていました。5年生の実習から耳鼻科医になりたいと考えていた私は、より専門的な医療を学びたく弘前大学耳鼻咽喉科専門研修プログラムに登録しました。もちろんお世話になった先生や友人が多いことも決め手の一つです。

当医局はここ数年入局者が多く、今とても勢いがある講座のひとつです。実際に私の同期は6人もいます。「人数が多いと症例の取り合いになるんじゃないの？」と周囲から言われることもありますが、そんなことはありません。症例はとても豊富で、様々な外来患者や手術が自分のところへ回ってきます。上級医の先生方のフィードバックも気合が入っており、毎日成長している自分を実感できています。また、近い学年の先生も多く、知識から手技のちょっとしたコツまで、何でも質問・相談しやすい素敵な環境であると感じています。

平均寿命が長くなるにつれて、「生きる」とは何かということがより重要視され始めています。耳鼻科は主に感覚器を扱う科であり、患者さんのQOLに直結する科だと思います。「聞こえない」「食事が美味しくない」など落ち込んでいた患者さんが、治療によって笑顔で来院する様子を目にすると、こちらも笑顔を隠せなくなります。

私達と一緒に患者さんの「生きる」を変えてみませんか？



活発なカンファレンス